

## 令和6年度 観光客の心に響く滞在型地域創造事業補助金事業計画書

### 1 事業実施主体

事業実施主体名 及び代表者名		
所在地		
連絡先電話番号		
メールアドレス		
ホームページ		
担当者職・氏名		
団体の 場合のみ 記載	団体の設立年月日	年 月 日
	現在の構成者数	
	団体の概況	
間接補助 の場合の み記載	市町村担当課	
	担当者職・氏名	
	連絡先電話番号	
	メールアドレス	

### 2 事業の実施目的・効果（実施結果）

※地域に存在する観光資源・魅力や本事業で解決しようとする課題や住民ニーズ、本事業の効果等を記載すること。

### 3 事業の概要

事業の名称	
事業区分	<input type="checkbox"/> 魅力ある宿泊体験メニュー創造事業 <input type="checkbox"/> 魅力ある滞在エリア創造支援事業 <input type="checkbox"/> 魅力ある滞在施設整備事業 ※該当するものにチェックをしてください。
事業実施期間	年 月 日 ~ 年 月 日
事業実施地区	
事業内容	※事業内容のほか、ターゲット（年齢層・性別・圏域）、体験プログラム等の提供サービスの 内容等を記載すること。 ※工事請負費又は委託料が伴うものについて、止むを得ない事情で県内事業者への発注が困難 である場合は、その理由を記載すること。 ※商品・サービス等を販売する上での販路や広報・PRの方法等について、具体的に記載する こと
事業実施 スケジュール	年 月 年 月 年 月 年 月
事業実施体制	※地域の理解を踏まえ、十分な体制のもと、取組を主体的に行い計画を実現できることが分か るように記載すること。

事業開始の実現性	
事業の今後の継続性	
	※資金調達（自己資金）の確保等、必要な人材の確保、地域の要望等を記載すること。
	※収支計画の概要（経営又は運営安定年までの収入、支出等）、顧客又は利用者数の確保はどのように図っていくか等を記載すること。

#### 4 宿泊者誘致計画

誘客目標・宿泊者数	人泊／年	現在の宿泊者数	人泊／年
誘致計画の内容	※記載する誘致計画は、当該補助金申請にかかるものだけでなく、申請者が独自に行う事業についても記載してください。		

#### 5 営業許可の取得状況

食品衛生責任者養成講習会	年 月 日受講（予定）
旅館業営業許可	年 月 日受講（予定）
簡易宿所営業許可	年 月 日受講（予定）
住宅宿泊事業法届出	年 月 日提出（予定）
食品営業許可	年 月 日受講（予定）
建築確認	年 月 日受講（予定）

※既に許可等を取得されている方は許可証等の写しを添付してください。  
※営業許可を取得していない場合は、取得予定を記入してください。

#### 6 消費税の取り扱い（※いずれかにチェックをしてください。）

一般課税事業者
簡易課税事業者
免税事業者  
簡特定収入割合が5％を超えている公益法人等・地方公共団体・仕入控除税額が明らかでない一般課税事業者

#### 7 仕入れ控除税額の有無

（ 有 ・ 無 ）

※仕入れ控除額の「有」「無」のいずれかに○をしてください。  
「無」の場合は、その理由を記載してください。  
（ 免税事業者であるため ・ その他（ ） ）

#### 8 他の補助金の活用の有無

（ 有 ・ 無 ）

※他の補助金の活用の有無について、「有」「無」のいずれかに○をしてください。  
「有」の場合は、活用する補助金名やその事業内容、当該補助金に係る問合せ先（補助金を所管している部署名や団体名及び連絡先）を記載してください。

補助金名	
事業内容	
補助金に係る問合せ先	

#### 9 その他特記事項

※補助事業の内容が建設工事で補助対象となる建物に対し、過去に補助金を活用して整備した実績がある場合は、当時の整備内容を記載すること。また、今後、当該建物（設備、備品を含む）に他の補助金を活用した別の整備計画の予定がある場合は、その内容を記載すること。

10 添付書類

- ア 事業計画の詳細が把握できる事業費内訳書、図面、見積書、パンフレット、宿泊施設等の現況写真等
- イ 事業実施主体の概要が把握できる資料（規約、構成員の所属、氏名、役割等）（別紙参照）
- ウ 市町村が補助事業者の場合、市町村の補助金の収支に関する歳入歳出予算のうち、補助事業が把握できる部分の写し、又は今後予算案を提出する旨の確約書
- エ 事業実施に必要な関係法令に規定する許認可等を取得している場合は、その許可証等の写し
- オ 魅力ある滞在施設整備事業については、事業に係る3年間の収支計画書（様式は問わない。）及び住民登録の状況、宿泊施設等の所有状況、申請者等の税金滞納がないこと等が把握できる資料
- カ 補助事業の内容が建築工事で補助対象となる建物に対し、過去に補助金を活用して整備した実績がある場合は、当時の整備内容のわかる資料
- キ 補助対象である建物（設備、備品を含む。）に他の補助金を活用した別の設備予定がある場合はその内容がわかる資料

令和6年度 観光客の心に響く滞在型地域創造事業補助金事業収支予算書

1 収入

(単位：円)

区 分	予算額	積 算	備 考
本補助金			
市町村費			
そ の 他			
合 計			

(注) その他収入については内容を具体的(宿泊料収入、体験料収入等)に記載すること、

2 支出(事業費内訳)

(単位：円)

科 目	予算額	積 算	備 考
合 計			

(注) 収支予算書として提出する場合、事業に係る予算の概要が分かる資料を添付すること。

令和6年度 観光客の心に響く滞在型地域創造事業補助金  
評価項目に対する考え方

事業の企画力	事業目的	(本県への観光客の誘客、リピーター獲得という趣旨を踏まえた事業となっているかについて記載してください。)
	旅行商品化の可能性	(事業内容に魅力があり体験型素材としての魅力があり集客が見込め、旅行商品化の可能性が高いかについて記載してください)
事業計画の妥当性	事業の新規性・発展性	(新規に取り組む部分又は従来の事業から拡充した部分、新たな工夫を加えた部分ができるように記載してください。)
	実施の確実性	(事業内容を実現できる体制、組織、協力等がとられているかについて記載してください。)
	計画の妥当性	(収支計画が妥当か、予算やスケジュールを含む事業計画について、実現可能か十分な検討が行われているか記載してください。)
事業の波及効果	情報発信力	(本県への観光客誘客のための情報発信力につながる話題性等があるかについて記載してください。)
	地域への波及効果	(本事業が地域に与える影響や効果(地域活性化や経済効果等)について記載してください。)

令和6年度 観光客の心に響く滞在型地域創造事業補助金  
事業実施主体の活動状況調

申請者（団体） の概要		1 任意団体 （常設組織・臨時組織） 2 法人 3 その他（ ）	設立年月日 （活動開始年月）	年 月 日 （ 年 月 日）
団 体 用	設立目的			
	組織状況	○会員数： 人 ○事務局スタッフ： 人 ○役員の構成：		
主な活動実績 （過去2年間）				
過去2年間の 助成実績 （県・国事業等）		事業名		補助金額
担当者		連絡先	住所 〒 電話 ファクシミリ 電子メール	

（注）規約、役員名簿を作成している団体は添付すること。